

## 2021年度 競技規則修改のまとめ

### ◎今年度は大きな改正はありません

#### ○細かな改正のポイント

- P2 ルールブックに記載させる場所の変更（内容の変更はなしで、英文の訳の見直しをした）  
Competition Rules（CR：競技会規則）と Technical Rules（TR:競技規則）に分けた
- P3 ・技術総務の役割の明確化  
・出発係（国内） スタートライン後方約1mのところに選手を並べる
- P5 ・競技用靴 【この件に関しては全文をよく読んで対応する】  
基本的に店でだれもが購入できるものは使える。ただし、厚さの規定は守る  
毎回競技会の際には検査をするべきだが、時間や場所、人数によりに不可能な場合が多い  
→現場で怪しいものであれば声をかける、最終的には審判長の判断で検査をする で対応
- P11・アスリートビブス（旧ナンバーカード）の大きさの変更  
【横24cm×縦20cm】から【横24cm×縦16cm】  
ただし、在庫が多い場合や学校関係においてはしばらくの間考慮する  
（岐阜県の場合は、毎年更新なので変更したものを使うので問題なし）  
・競技者への助力（TR3.6.4 TR6.4）  
助力としない の例
- P14・障害物競走の失格事例  
水濠のある場所では、水濠以外の地面を踏んだ場合は失格となる（右・左関係なく）  
※必ず水濠を通過すること ただし、水濠を飛び越えることについては失格としない  
・TR29.3 踏切板に関する競技規則適用を1年延期する
- P15・競技用靴のまとめ
- P16～ 競技用施設の規定の変更、注意事項
- P18～ 商標について…ロゴの大きさに注意
- P20 公認審判員の昇格 取得者

#### ○その他

- ① C級審判員制度の導入…今後高体連との連携、講習会は陸協で行う
- ② 審判手帳に記載をする（登録、競技会、講習会）
- ③ ルールブック、ハンドブックの希望者は各自でネットや本屋で購入
- ④ 審判服の購入提携先である青山商事の販売については後日連絡があれば紹介します  
（購入については各自に任せる。青山商事にこだわらない）

今年度確認することは以上となります。細かいところは時間があるときに読んで理解してください。  
もし、不明な点があれば連絡をください。